※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	体験学習 B （デジタルデザイン）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	情報デザイン検定試験　模擬問題集　１・２級編（日本情報処理検定協会） 自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・マルチメディアを活用して、様々な作品制作を行います。
・授業は実習形式を中心に行い、授業の最後には何を学び、どのようなことを身につけたのか振り返りを行います。課題への取り組み状況、実習作品で評価します。日々の取り組みが大切です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・アナログデータのディジタル処理を通じて、情報処理の知識、役割を理解している。
・実習を通して情報技術能力を養い、場面に応じてメディアを使い分けることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・ディジタルデータの利点、欠点を理解し、社会生活の中でどのように活用することが望ましいかを考えさまざまなソフトを使いより効果的に自己表現をしている。
・情報発信の知識、技能を理解し、多様な手段で効果的な発信を計画することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・情報技術が社会に及ぼす影響や役割を理解し、その課題について考え、主体的に取り組もうとしている。
・相互評価を行い、考える力や感じる力を育て、自分の考えを育てようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・アナログデータのディジタル処理を通じて、情報処理の知識、役割について理解している。 ・実習を通して情報技術能力を養い、場面に応じてメディアを使い分けることができる。	・ディジタルデータの利点、欠点を理解し、社会生活の中でどのように活用することが望ましいかを考え、さまざまなソフトウェアを使いより効果的に自己表現をしている。 ・情報発信の際の知識、技能を理解し、いろいろな手段で効果的な発信を計画することができる。	・情報技術が社会に及ぼす影響や役割を理解し、その課題について考え、主体的に取り組もうとしている。 ・相互評価を行い、考える力や感じる力を育て、自分の思いや考えを育てようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	マルチメディア	マルチメディアについて	a:メディアについてそれぞれの特徴や内容を理解している。 b:情報発信の目的や受け手に応じて情報伝達のメディアを適切に選択している。 c:マルチメディアの進歩により実現できることを理解し、その活用について考えようとしている。	ワークシート 実習課題	ワークシート 実習課題	授業観察 実習課題 振り返り
	デジタルアプリケーション	テーマに沿ったモノづくり	a:ソフトウェアの基本操作が身についている。 b:目的を持って情報を表現でき、作成する際の分担・工程を管理することができる。 c:全体の見通しをもって作成計画を立て、適切に運用し、自ら評価し改善しようとしている。	ワークシート 実習課題	ワークシート 実習課題	授業観察 実習課題 振り返り
2学期	デジタルデザイン	テーマに沿った静止画制作	a:画像処理ソフトウェアの基本操作を身につけている。 b:静止画制作の目的や対象者を踏まえて効果的になるよう考えている。 c:情報をわかりやすく伝達するための表現方法について学習活動を行い、自ら評価し改善しようとしている。	ワークシート 実習課題	ワークシート 実習課題	授業観察 実習課題 振り返り
3学期	Webデザイン	Web サイト制作	a:Web デザインに関する基礎知識と制作技術について理解している。 b:記事内容、情報内容に応じた適切な内容を選択・準備し、効果的にレイアウトすることができる。 c:課題の趣旨を理解し、積極的に取り組もうとする。	ワークシート 実習課題	ワークシート 実習課題	授業観察 実習課題 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度